

2025年度 第3四半期 決算説明資料

2026.1.21

将来の見通しに関する注意事項

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

四半期決算 概要



(単位：百万円)	FY2025	FY2025	QoQ		FY2024	YoY	
	3Q	2Q	差額	(%)	3Q	差額	(%)
売上高	109,291	104,622	4,669	4.5%	93,553	15,738	16.8%
売上総利益	78,064	72,748	5,316	7.3%	66,622	11,442	17.2%
GP率	71.4%	69.5%	1.9p	-	71.2%	0.2p	-
販売管理費	30,723	28,357	2,367	8.3%	27,476	3,247	11.8%
営業利益	47,340	44,391	2,949	6.6%	39,145	8,195	20.9%
経常利益	46,985	45,466	1,520	3.3%	42,027	4,959	11.8%
経常利益率	43.0%	43.5%	-0.5p	-	44.9%	-1.9p	-
税前利益	46,801	44,918	1,883	4.2%	41,866	4,935	11.8%
純利益	36,726	32,145	4,581	14.3%	31,809	4,917	15.5%

売上高： QoQ 機械装置の検収進捗および消耗品出荷堅調により増収
 GP率： QoQ 高付加価値製品の貢献および為替影響により収益性上昇
 販売管理費： QoQ 人件費や研究開発費が増加

10-12月期の決算概要です。売上高は機械装置の検収進捗に加え、消耗品出荷が堅調だったことから四半期としては過去2番目の高い水準となりました。

なお、売上高は顧客の設備投資意欲と直接の連動性は低く、装置の検収状況に左右されやすいため、顧客の投資意欲をはかる上では「出荷額」の推移をご参照ください。

※2019年度（2019年4月～）より会計方針の変更により、装置売上は、顧客の検収をもって計上する「検収ベース」へと移行しております。

10-12月期業績概要

売上高：1,092億円（四半期ベースで過去2番目）

GP率：71.4%（四半期ベースで過去2番目）

販管費：307億円

営業利益：473億円

為替レート

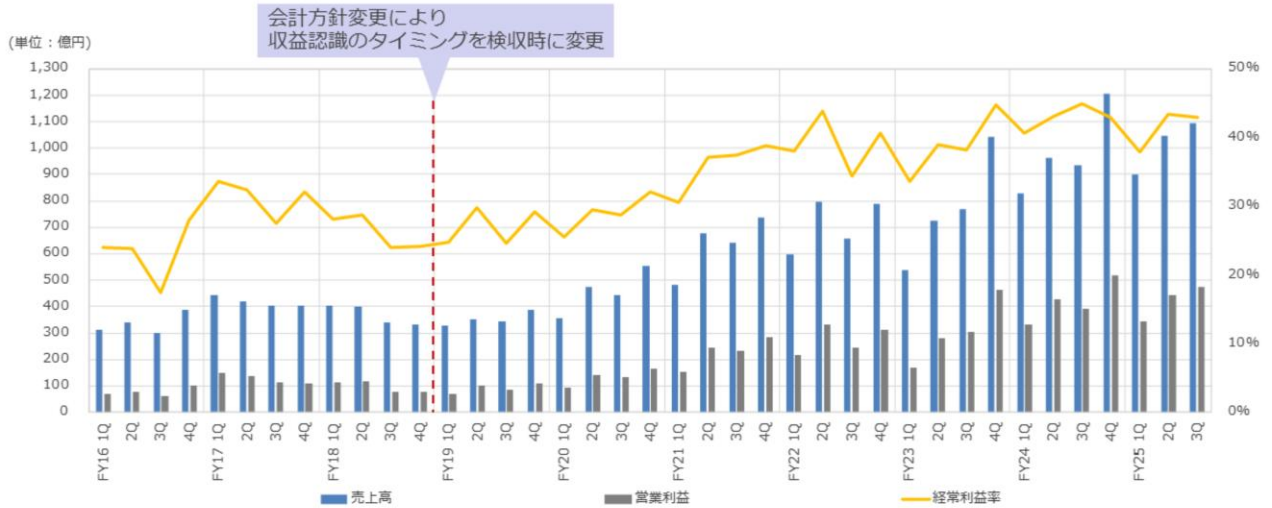
当四半期 10-12月期 USD:155.7円 EUR:181.4円

前四半期 7-9月期 USD:148.4円 EUR:172.2円

前年同期 10-12月期 USD:154.2円 EUR:163.6円

※各種データは、当社Webサイト上「補足情報」（Excelファイル）に掲載

業績 四半期推移

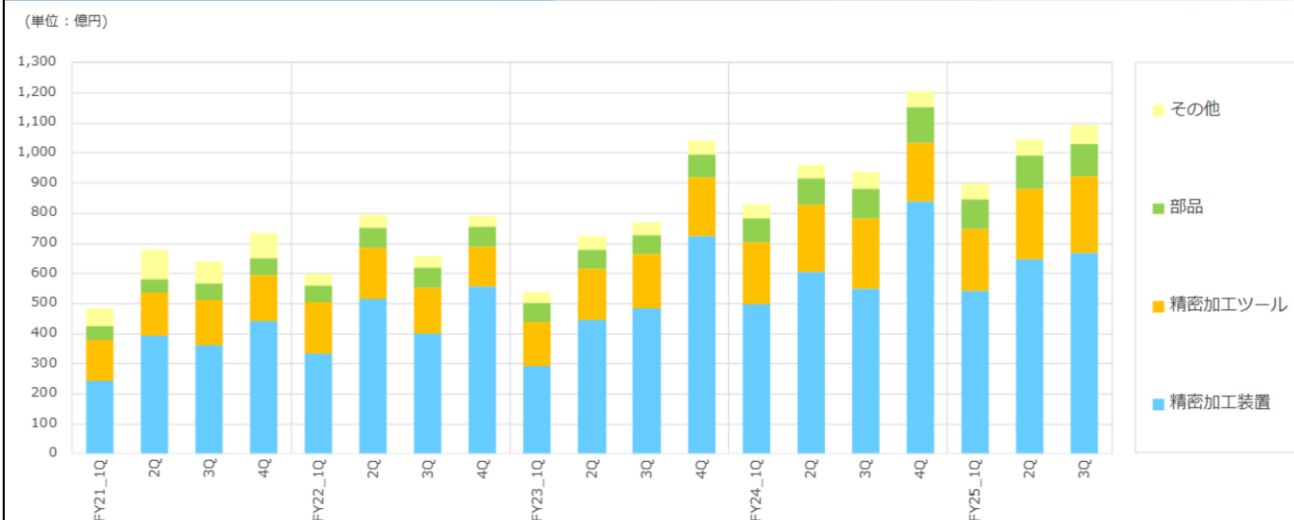


FY25_3Q 営業利益率43.3% 経常利益率43.0% 純利益率33.6%
※数値推移は、Webサイト「補足情報」に記載

四半期別の業績推移です。

詳細については、当社Webサイト上に「補足情報」(Excelファイル)を掲載しておりますので、あわせてご参照ください。

製品群別売上高 四半期推移



※構成比数値は、Webサイト「補足情報」に記載

製品別の売上高推移です。

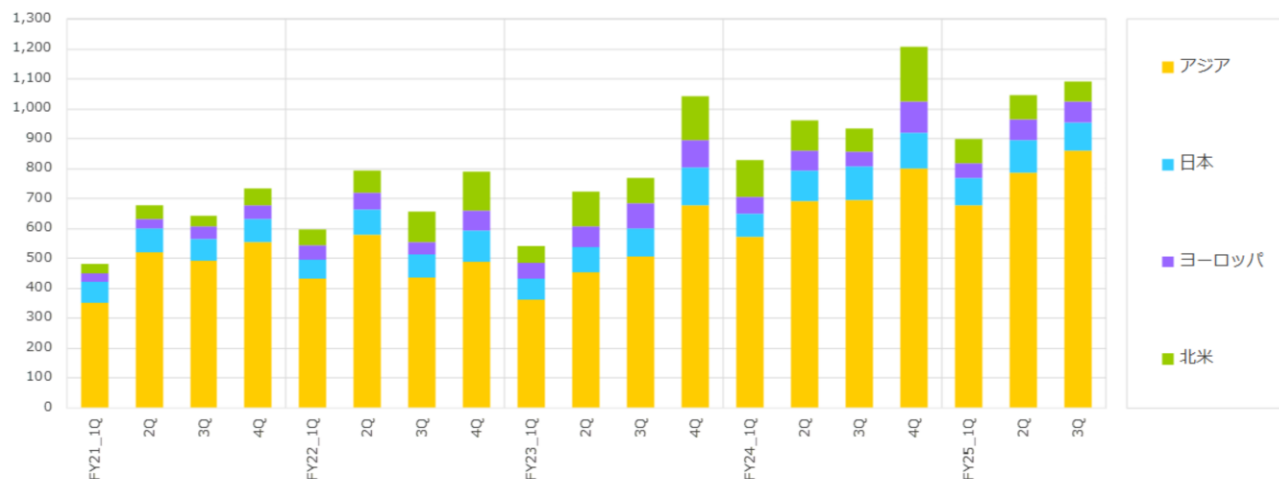
詳細な構成比については、当社Webサイト「補足情報」(Excelファイル)をご参照ください。

※2019年度(2019年4月～)より会計方針の変更により、装置売上は顧客の検収をもって計上する「検収ベース」へと移行しております。

それ以外の「精密加工ツール」「部品」などの製品群は、従来と同じタイミングでの売上計上となっています

地域別売上高 四半期推移

(単位：億円)

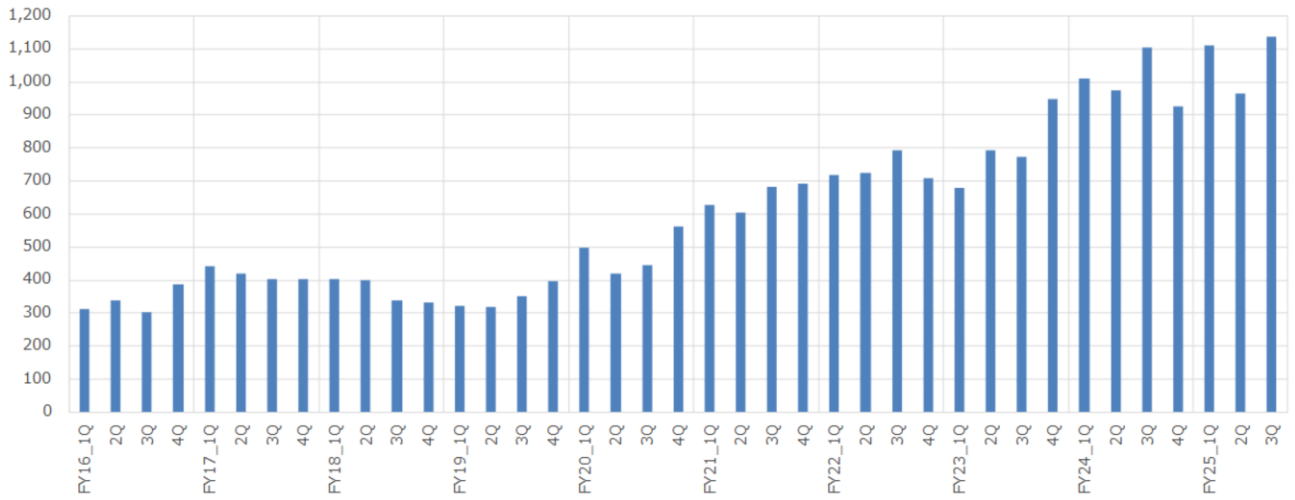


FY25_3Q 海外売上高比率 91.5%

地域別の売上推移です。こちらは参考としてご覧ください。

出荷額推移

(単位：億円)



FY25_3Q 出荷額 1,136億円 (過去最高)

市場との連動性が高い「出荷額」の四半期推移です。

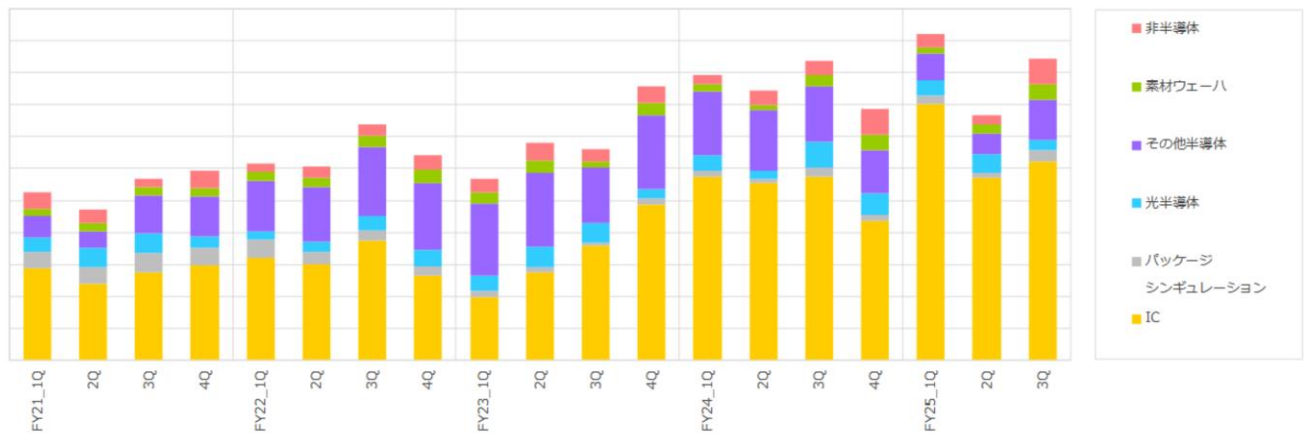
10-12月期の出荷額は1,136億円となりました。

生成AI向けを中心に装置出荷が堅調に推移したことに加え、顧客の設備稼働率などに連動して消耗品である精密加工ツールの出荷も増加したことで、四半期出荷額として過去最高を記録しました。

精密加工装置用途別

出荷額ベース

精密加工装置



QoQ 堅調な生成AI向けに加え、非IC用途の増加が全体を押し上げた
 YoY 堅調な生成AI向けが全体をけん引する形は変わらず

精密加工装置全体（ブレードダイサ、レーザー、グラインダなど※）の用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

※用途別の分類が困難な周辺装置は除いています。

10-12月期 QoQ

IC：生成AI向けを中心に、ロジック向けが増加しました。

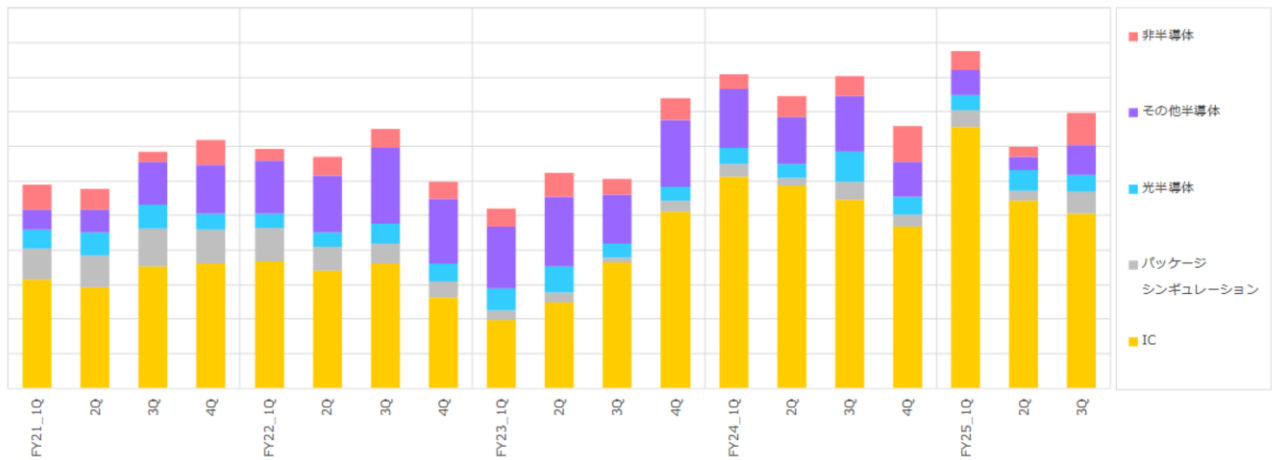
その他半導体：低迷していたパワー半導体向けが増加に転じました。

非半導体：高周波フィルタ向けに加え、大学・研究機関向けなどが増加しました。

ダイサ用途別

出荷額ベース

ダイサ



QoQ その他半導体（主にパワー半導体）と非半導体が増加
 YoY その他半導体（主にパワー半導体）向けが減少

精密加工装置の内、ダイサ（ブレードダイサ、レーザー）の用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

10-12月期 QoQ

IC：生成AIのメモリ向けが減少しましたが、ロジック向けが増加しました。

その他半導体：減少が続いていたパワー半導体向けが増加に転じました。

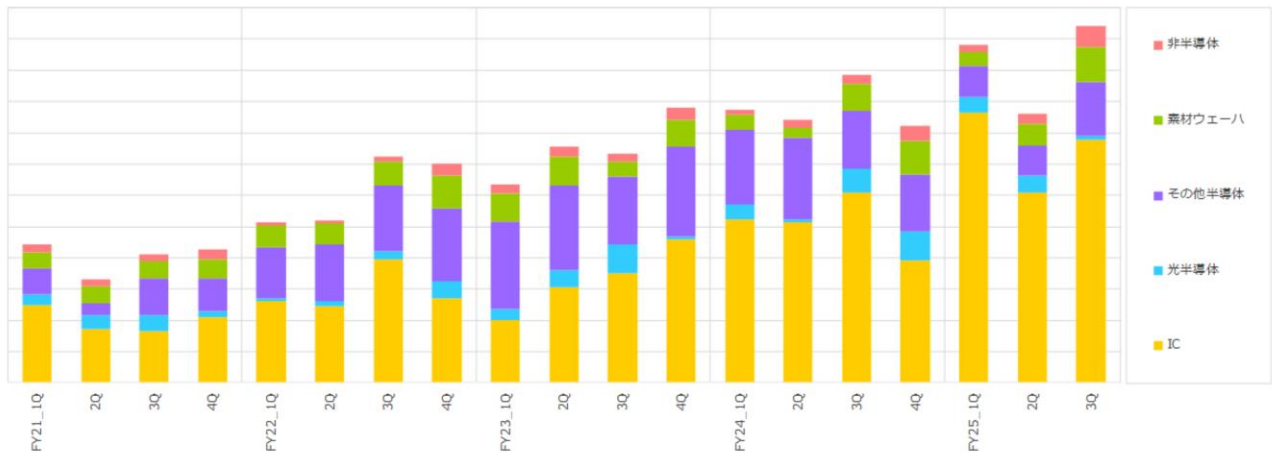
非半導体：高周波フィルタ向けに加え、大学・研究機関向けなどが増加しました。

なお、用途別の構成比や増減率などの詳細データは資料後半に記載しています。

グラインダ用途別

出荷額ベース

グラインダ



QoQ ICおよび、その他半導体（主にパワー半導体）向けが増加
YoY 生成AI向けを中心にIC向けが増加

精密加工装置の内、グラインダの用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

10-12月期 QoQ

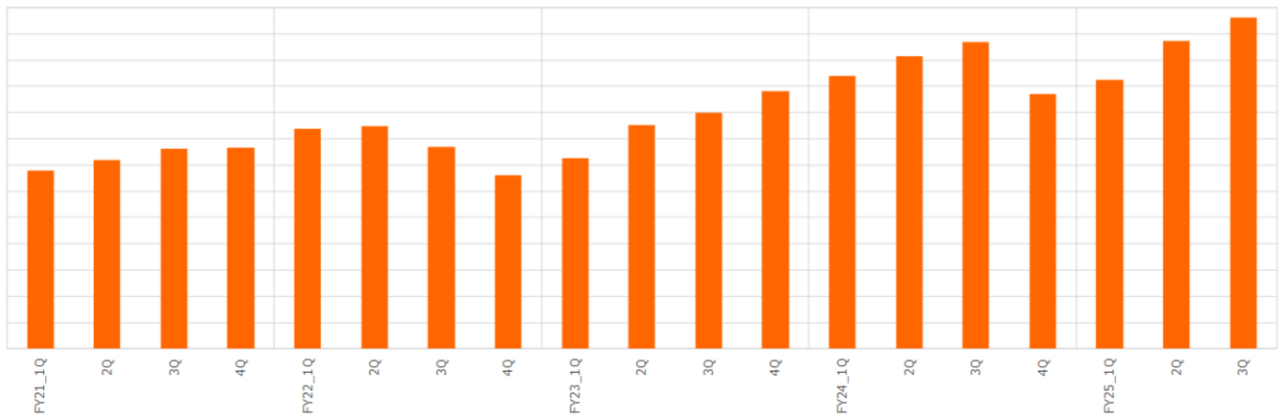
IC：生成AI向けを中心にロジック向けが増加しました。

その他半導体：減少が続いていたパワー半導体向けが増加に転じました。

素材ウェーハ：ウェーハメーカー向けが増加しました。

非半導体：高周波フィルタ向けに加え、大学・研究機関向けなどが増加しました。

なお、用途別の構成比や増減率などの詳細データは資料後半に記載しています。



顧客の設備稼働率等を背景に前四半期から増加し過去最高を更新

消耗品である精密加工ツールの売上推移です。（出荷＝売上計上）

顧客の高い設備稼働率や為替影響等を背景に、前四半期から大幅な増加となり、過去最高の出荷を記録しました。

今後の顧客の設備稼働率や最終製品の需要動向を注視しています。

為替レート

当四半期 10-12月期 USD:155.7円 EUR:181.4円

前四半期 7-9月期 USD:148.4円 EUR:172.2円

前年同期 10-12月期 USD:154.2円 EUR:163.6円

バランスシート(抜粋)



(単位：百万円)	FY2025 3Q	FY2025 2Q	差額
現金及び預金	246,143	222,909	23,234
受取手形・売掛金	50,761	53,785	-3,025
棚卸資産	141,596	138,741	2,855
流動資産	446,956	421,647	25,308
有形固定資産	211,567	210,997	571
固定資産	231,307	229,746	1,561
総資産	678,263	651,394	26,870
流動負債	134,719	132,726	1,992
固定負債	932	960	-28
負債合計	135,652	133,687	1,965
純資産	542,611	517,706	24,905
負債純資産合計	678,263	651,394	26,870
自己資本比率	79.8%	79.2%	0.6p

総資産：主に現預金や棚卸資産が増加

負債：未払法人税等が減少した一方、契約負債や仕入債務などが増加

純資産：主に利益剰余金が増加

バランスシートは、12月末と9月末を比較しております。

ポイントはスライド記載の通りです。詳細は決算短信をご参照ください。

業績見通し



(単位：億円)

今回予想

	FY24 1Q	2Q	3Q	4Q	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	828	962	936	1,207	899	1,046	1,093	1,152
営業利益	334	426	391	517	345	444	473	459
経常利益	336	414	420	519	340	455	470	459
純利益	237	297	318	386	238	321	367	338
営業利益率	40.3%	44.3%	41.8%	42.8%	38.4%	42.4%	43.3%	39.8%
経常利益率	40.6%	43.0%	44.9%	43.0%	37.8%	43.5%	43.0%	39.8%
純利益率	28.6%	30.9%	34.0%	32.0%	26.5%	30.7%	33.6%	29.3%
出荷額	1,011	976	1,103	925	1,111	963	1,136	1,169

※億円未満 四捨五入

想定為替レート 4Q (1-3月期)
為替感応度 (年換算)

US\$: 154円 Euro : 181円
US\$: 約17億円 Euro : 約1億円

業績の見通しです。当社は、顧客の投資意欲が短期間で激しく変動することから、需要予測が困難なため、従来（2018年）から業績予想開示は「1四半期先までの開示」としております。売上計上の基準は「検収時点」となっており、顧客の検収タイミングによって、業績が変動いたします。

今回は1-3月期の業績見通しを開示いたします。

販売管理費の増加などにより利益率は低下する予想としておりますが、引き続き高水準の売上高・利益を見込みます。

実際の製品・案件の検収状況により業績・収益性は変動する可能性があります。

今回開示した年間業績予想として、売上高は初めて4,000億円を超える予想となり、6期連続で最高益更新の見込みとなります。

詳しくは決算短信をご覧ください。

市場動向を表す出荷額は、四半期として過去最高額を見込みます。

四半期ごとに出荷額の変動はあるものの、生成AI関連を中心に引き続き堅調な出荷を見込んでいます。

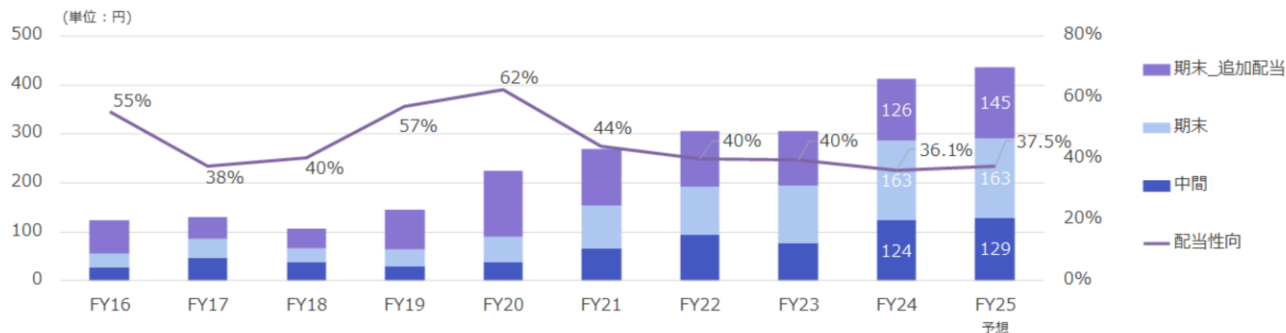
配当政策および配当額



【配当方針】

1. 期末、中間の年2回、連結半期純利益の25%を配当する
2. 安定配当として半期10円（年間20円）を維持。ただし3期連続で連結純損失の場合を除く
3. 年度末時点で赤字の場合を除き、配当及び法人税支払い後の現預金残高が予定必要資金額(*)を超過した場合は、上記1.に加え、超過金額の3分の1を目処に配当に上乘せする（追加配当）

*技術購入予備費（技術特許購入、ベンチャーへの出資等）および設備拡張資金、有利子負債返済資金など



FY25 中間 (実績) 129円 期末 (予想) 308円

※2023年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
(FY22以前の配当推移は当該株式分割が行われたと仮定して記載)

期末の配当予想です。

業績予想および3月末の余剰資金予想に基づき計算しております。

下期業績連動分は163円、余剰資金の1/3からの追加配当分は145円、期末合計で308円を見込んでいます。

(年間では過去最高となる437円と予想)

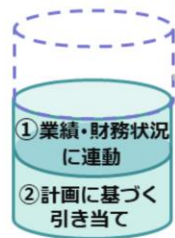
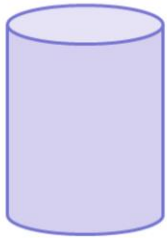
実際には業績および余剰資金の状況により大きく変動する場合があります。

記載の通り、FY22以前の配当推移は株式分割が行われたと仮定して記載しております。

追加配当に係わる余剰資金の計算式

今回予想

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{年度末現預金} \\ \hline 1,954 \text{億円} \ast \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{必要資金} \\ \hline 1,484 \text{億円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{余剰資金} \\ \hline 470 \text{億円} \\ \hline \end{array}$$



156億円

追加配当

1/3

必要資金の内訳

①	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">運転資金</th> </tr> <tr> <td>前期</td> <td>698</td> </tr> <tr> <td>連結売上高 ÷ 12ヶ月 × 2ヶ月</td> <td>億円</td> </tr> </table>	運転資金		前期	698	連結売上高 ÷ 12ヶ月 × 2ヶ月	億円	320 億円
	運転資金							
	前期	698						
連結売上高 ÷ 12ヶ月 × 2ヶ月	億円							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">技術購入予備費(M&A含む)</th> </tr> <tr> <td>連結売上高</td> <td>×</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>過去3年平均</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	技術購入予備費(M&A含む)		連結売上高	×	10%	過去3年平均		
技術購入予備費(M&A含む)								
連結売上高	×	10%						
過去3年平均								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">長期有利子負債返済資金</th> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> </tr> </table>	長期有利子負債返済資金			-				
長期有利子負債返済資金								
	-							
	税金・配当等	302 億円						
②	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">設備拡張資金</th> </tr> <tr> <td>広島新工場等</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td></td> <td>億円</td> </tr> </table>	設備拡張資金		広島新工場等	164		億円	
	設備拡張資金							
広島新工場等	164							
	億円							

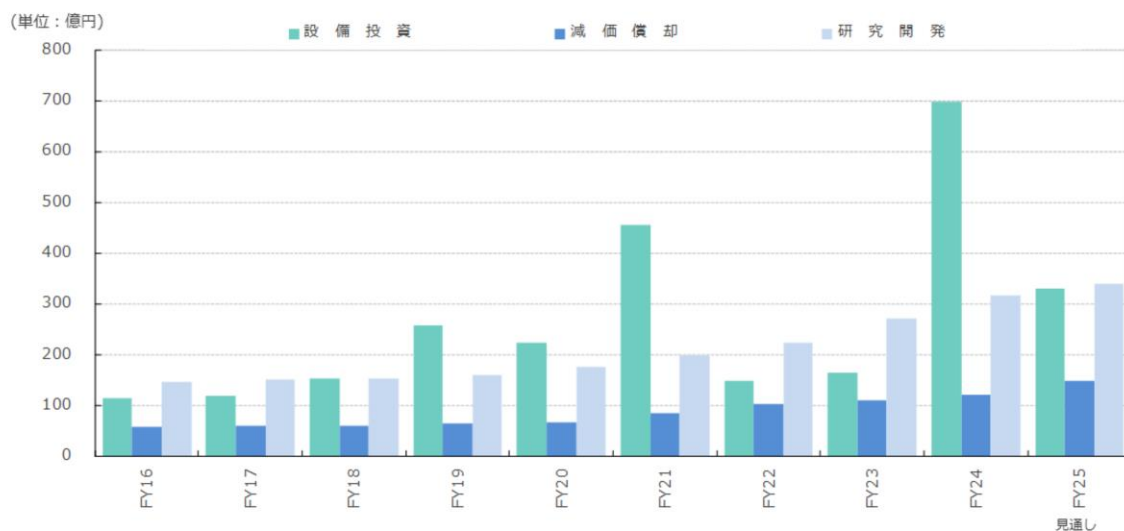
※ 契約負債（前受金）金額などを考慮

こちらは余剰資金計算に係わる資金の内訳です。

スライド左記載の「年度末現預金」は、契約負債（前受金）などを考慮するため、バランスシート上の現預金と一致しませんのでご注意ください。

今後、必要な資金についてはスライド右に記載の通りです。

R&D/CAPEX 見通し



FY25見通し

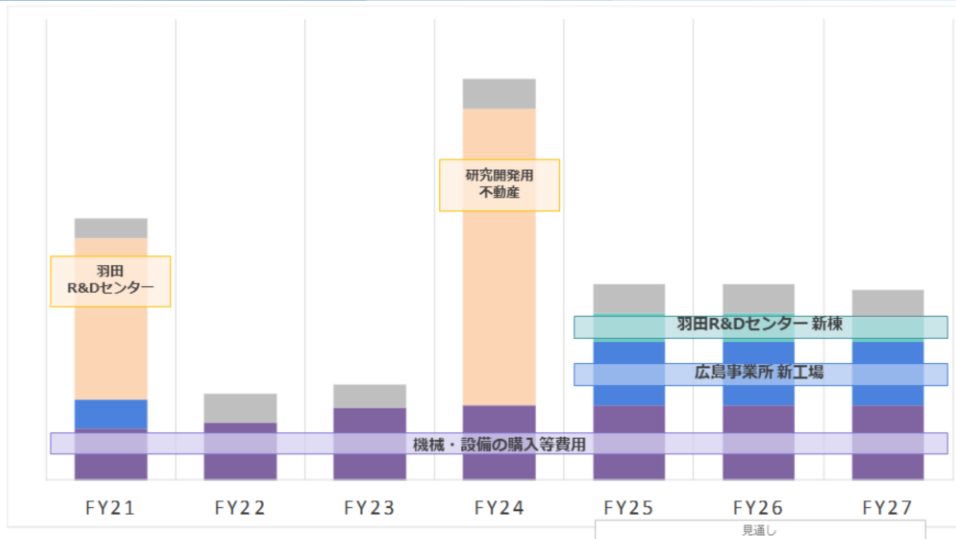
設備投資：約330億円 合理化投資、羽田R&Dセンター建替、新工場建築を含む
 減価償却：約150億円
 研究開発：約340億円 積極的な研究開発活動を継続

【設備投資】4月発表時点から変更なし

引き続き会社を強くするために必要な投資を積極的に行っていくため、今後も高水準の設備投資が継続する見込みです。

【減価償却費】10月発表時点から約10億円増額修正

【研究開発費】10月発表時点から約10億円増額修正



研究開発用不動産	約500億円	支出時期：FY24
羽田R&Dセンター 新棟	約140億円	支出時期：FY25～FY27
広島事業所 新工場	約330億円	支出時期：FY25～FY27

こちらは、設備投資の内訳イメージです。

羽田R&Dセンター新棟や広島事業所新工場などの支出が続く予定で、機械・設備など合理化投資の金額と合わせて、年間300億円超の設備投資金額が継続する見通しです。

出荷額ベース

製品群		見通し FY25_4Q 増減率 (QoQ)
ダイサ	ブレードダイサ	30%
	レーザーソー	20%
		25%
	グラインダ	-10%
	周辺装置	80%
精密加工装置		10%
精密加工ツール		-5%
その他		-15%

こちらは、製品群別、出荷額ベースでの見通しです。

1-3月期の製品別出荷見込みを概算のQoQ増減率で示しています。
参考としてご覧ください。

【ご参考】製品群別 用途別 データ集

出荷額ベース

■ 製品群	3Q		
	構成比	QoQ	YoY
精密加工装置合計	61%	23%	0%
内、ダイサ	28%	14%	-12%
ブレードダイサ	13%	-6%	-25%
レーザー	15%	41%	4%
内、グラインダ	30%	32%	16%
内、周辺装置	3%	30%	-14%
精密加工ツール	22%	8%	9%
その他	17%	14%	9%
出荷額合計	100%	18%	3%

【ご参考】用途別 構成比



出荷額ベース

製品	用途	FY24				FY25		
		24-1Q	24-2Q	24-3Q	24-4Q	25-1Q	25-2Q	25-3Q
ダイサ	1_IC	67%	69%	60%	62%	78%	78%	64%
	2_パッケージ・シグナレション	4%	3%	6%	4%	5%	4%	8%
	3_光半導体	5%	5%	10%	7%	5%	9%	6%
	4_その他_半導体	19%	16%	18%	13%	7%	5%	11%
	5_非半導体	5%	7%	7%	14%	6%	4%	11%
ダイサ		100%	100%	100%	100%	100%	100%	
グラインダ	1_IC	60%	61%	62%	48%	80%	71%	68%
	2_光半導体	6%	1%	8%	11%	5%	6%	1%
	3_その他_半導体	27%	31%	19%	22%	9%	11%	15%
	4_素材ウエーハ	6%	4%	9%	14%	4%	8%	10%
	5_非半導体	2%	3%	3%	6%	2%	4%	6%
グラインダ		100%	100%	100%	100%	100%	100%	

【ご参考】用途別 YoY



出荷額ベース

製品	用途	FY24				FY25		
		24-1Q	24-2Q	24-3Q	24-4Q	25-1Q	25-2Q	25-3Q
ダイサ	1_IC	210%	135%	50%	-8%	23%	-7%	-7%
	2_パッケージ・シキレーション	23%	-15%	270%	7%	33%	14%	24%
	3_光半導体	-26%	-46%	112%	26%	-5%	50%	-47%
	4_その他_半導体	-3%	-33%	15%	-48%	-58%	-72%	-45%
	5_非半導体	-17%	-13%	26%	65%	34%	-54%	55%
ダイサ		75%	36%	49%	-10%	7%	-17%	-12%
グラインダ	1_IC	160%	68%	73%	-14%	66%	18%	28%
	2_光半導体	46%	-86%	-15%	819%	-1%	652%	-84%
	3_その他_半導体	-16%	-4%	-15%	-37%	-59%	-63%	-5%
	4_素材ウエーハ	-45%	-62%	79%	26%	-8%	104%	28%
	5_非半導体	-50%	-24%	19%	31%	46%	29%	125%
グラインダ		37%	11%	34%	-6%	24%	2%	16%

【ご参考】用途別 QoQ



出荷額ベース

製品	用途	FY24				FY25		
		24-1Q	24-2Q	24-3Q	24-4Q	25-1Q	25-2Q	25-3Q
ダイサ	1_IC	20%	-4%	-7%	-14%	62%	-28%	-7%
	2_パッケージ・シグナレーション	14%	-34%	119%	-35%	43%	-44%	138%
	3_光半導体	10%	-12%	115%	-40%	-16%	40%	-23%
	4_その他_半導体	-11%	-22%	19%	-37%	-28%	-48%	134%
	5_非半導体	-34%	46%	-3%	77%	-47%	-50%	227%
ダイサ		8%	-7%	7%	-16%	29%	-29%	14%
グラインダ	1_IC	14%	-2%	18%	-35%	120%	-30%	28%
	2_光半導体	402%	-85%	952%	20%	-46%	10%	-78%
	3_その他_半導体	-17%	10%	-29%	-3%	-46%	-1%	80%
	4_素材ウエーハ	-45%	-29%	148%	29%	-59%	56%	56%
	5_非半導体	-59%	62%	24%	61%	-55%	44%	115%
グラインダ		-1%	-4%	17%	-16%	31%	-20%	32%

【ご参考】地域別 構成比 アジアの内訳



検収ベース

■ 構成比	FY2024				FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	9%	11%	12%	10%	10%	10%	9%
アメリカ	15%	10%	8%	15%	9%	8%	6%
アジア	69%	72%	74%	66%	75%	75%	79%
シンガポール	6%	8%	8%	7%	7%	7%	10%
台湾	16%	17%	19%	22%	27%	28%	28%
韓国	14%	12%	9%	9%	9%	10%	6%
中国 ※	32%	33%	37%	27%	30%	28%	34%
その他	1%	1%	1%	2%	3%	2%	1%
ヨーロッパ	7%	7%	5%	9%	6%	7%	6%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※外資メーカー現地工場向け含む

**当社ではMissionの実現性の向上に取り組むことで、
結果として企業価値の向上と競争力向上に繋がり、
資本市場の皆さまの期待に応えることができると考えています**

- ✓ 事業の質の追求
- ✓ 自己資金の活用と目的
- ✓ 株主還元方針
- ✓ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

上記の考え方について[詳しくはこちら](#)をご確認ください

ご参考 ディスコ株保有を検討される皆様へ

当社の考え方をご理解いただく一助として、ぜひご参照ください。

https://www.disco.co.jp/jp/ir/mginfo/msg_share.html

本資料について

掲載内容に関しては細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や第三者によるデータの改ざん等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本資料は投資勧誘を目的にしたものではありません。投資はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

表記について

年間の会計期間である4月～翌年3月までをFY (Fiscal Year) と表記し、四半期の会計期間は4-6月を1Q、7-9月を2Q、10-12月を3Q、1-3月を4Qと表記しています。
金額単位に応じて、単位未満の金額を四捨五入または切り捨て処理しており合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。

将来の見通しに関する注意事項

この資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

英語圏の方々のために英語資料を提供する場合、和文(原文)と英訳の内容が相違した際は和文の内容が優先されます。

本資料の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。私的利用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、本資料を使用(複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版等を含む)するためには、当社の事前の明示の許諾が必要です。

<https://www.disco.co.jp/>